

WAU

ディープに伝えるマレーシア文化通信
[ワウ] Malaysia Cultural Post

No. 13

AUTUMN 2017

TAKE FREE

マレー風Wau(ワウ)のように、
色鮮やかで誇り高いマレーシア
の伝統芸能、ごはん、映画に
焦点をあて、専門家がディープ
にご紹介するフリーペーパー

日本マレーシア外交関係樹立60周年<特別企画>

データでひもとく 日馬友好の歴史

Seeing Japan-Malaysia Relations through general information

音楽・映画・ごはん

Music, Films and Foods in Malaysia

マレーシアより祝賀メッセージ

Congratulatory messages from Malaysia



駐日マレーシア大使から
WAU記念号への特別寄稿

Congratulatory message from Ambassador of Malaysia

サバ州のアート集団「パンロック・スラップ」
記念木版画作品

Special woodcut print art works by Pangrok Sulap

日本とマレーシアをカルチャーで結ぶ

日本文化・体験型展示イベント
CUBE_1 クアラルンプール

Explore the Japanese Culture at CUBE_1 in Kuala Lumpur

日・マレーシア
外交関係樹立
60周年記念
特別号





会場を彩るのは、高精細の4K映像
や物体に依存しない空間アート、イ
ンスタレーション。子供も大人もワ
クワクワする空間が広がっている

Image and Matter
by Yokichi Ochiai TOKYO
Cyber Arts and Science towards Digital Nature

日本とマレーシアをカルチャーで結ぶ 日本文化・体験型展示イベント

in クアラルンプール

メイド・イン・ジャパンの商品や日本独自のカルチャーを発信する「ISETAN The Japan Store」。
その3階にある「CUBE_1」と名付けられたイベントスペースが、今、マレーシアで注目を集めています！

マレーシアのクアラルンプールで、世界でもあまり例をみない、日本発の体験型展示イベントが開催されているのをご存じでしょうか。2016年10月、写真家の蜷川実花氏による京都を舞台にした写真展「trans-kyoto」を皮切りに、研究者でありメディアアーティストでもある落合陽一氏の世界初の個展、日本のお花見を疑似体験できる和食イベントなど、さまざまな角度から日本の文化を紹介。およそ2ヶ月ごとにテーマを変え、この1年間で6つもの展示イベントを実現。とくに、子ども向けの日本独自の知育プログラム体験イベントでは、のべ数千人以上のファミリーが来場し、身体をつかって学ぶワークショップには長い列ができました。

このプロジェクトを手がけているのは、明治9年創業の日本の大手企業、大日本印刷(DNP)。長年取り組んでいる「見えない文化をカタチにして後世に受け継ぐ」という事業のひとつとして、数年前から先鋭達によるチームを結成。「マレーシアという多様な民族が暮らす国で、私たちが考える日本の文化がどのように受け入れられるのか。これは会社としても新しい挑戦です」とチームを率いる木藤聖直さん(ABセンター/大日本印刷)は語ります。各展示の準備期間は、すくなくとも半年以上かけ、企画の立案からイベント

の実施運営、さらには日本からアーティストを招いてのワークショップなどもすべて自分たちで担当。現地の市場調査やPRは、現地と連携を図りながらプロジェクト内容によって戦略を変えています。「私たちが伝えたいのは、日本文化の多様性とその魅力です。じっくり体験していただければ、2倍にも3倍にも日本のよさが感じられると思います」と木藤さん。また、日本の文化を理解してもらうためにはマレーシアの文化を知る必要があると考え、現地のパートナーとの関係を密にし、マレーシア人のスタッフも積極的に採用。日本のやり方を押し付けるのではなく、いかに現地の人に受け入れてもらえるか。その細やかな配慮が、マレーシア人の心をとらえているのです。ゆくゆくは、日本とマレーシアの双方向をつなぐ“場”としての“メディア”に育てていくとのこと。

この展示イベントは、ブキピントンの「LOT10」内「ISETAN The Japan Store」にて常時開催。これからも他では見られない展示イベントを続々開催予定とのことなので、ぜひお見逃しなく。

場所：「CUBE_1」

**3F THE CUBE, ISETAN The Japan Store Kuala Lumpur,
LOT10, 50 Jalan Sultan Ismail 50250 Kuala Lumpur, Malaysia
時間：11:00 ~ 21:00 (LGF to 3F) 電話：(+60)3-2141 7777
<http://www.cube1kl.com/> Facebook：Cube1kl Instagram：cube1kl**



- 1 蜷川実花氏の京都をテーマにした写真展
- 2 落合陽一氏によるデジタルネイチャー体験
- 3 和食をテーマにした体験型展示イベント
- 4 遊びと学びを育む体験型知育イベント
- 5 縄文文化と現代アートの融合展

DNP
大日本印刷

もしも、キナバル山をのぞむ空に鯉のぼりが泳いでいたら。
 もしも、キナバル山の麓に桜の花が咲き乱れたら。



Koinobori below the Wind



Sensu MAS-Japan

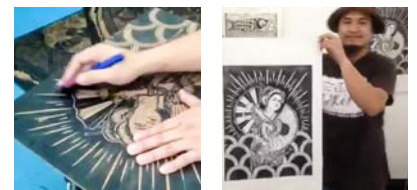
日本に想いを馳せて。サバ州の木版画アート集団「パンロック・スラップ」のリゾ・レオン氏が、日本とマレーシアの外交関係樹立60周年の記念作品を制作

Special woodcut print art works by Rizo Leong, Pangrok Sulap



Sakura in Kinabalu

日本とマレーシアの要素を織り込んだ作品を作るのはとても嬉しいことでした。両国の外交関係は、ビジネスなどの経済的な面だけではなく、知識の共有や人と人のつながり、過去の経験から学ぶ姿勢も大切です。かつての戦争や植民地化などを経験し、今、私たちはより関係性を深め、あらゆる暴力や抑圧を遠ざけることができます。—— リゾ・レオン



「パンロック・スラップ (Pangrok Sulap)」は、ボルネオ島のサバ州を拠点に活動する木版画アート集団。WAU9号の記事でも注目したように、先住民の伝統文化の継承や熱帯雨林の保護など、様々なメッセージをアート作品を通して社会に発信している。リゾ・レオン氏 (Rizo Leong) は中心人物の一人。

その2: 日本マレーシア外交関係年表

- 1957年 マラヤ連邦（現マレーシア）がイギリスより独立、日本との外交関係樹立
- 1977年 クアラルンプール日本人会主催で、第1回盆踊り大会が開催
- 1982年 東方政策（Look East Policy）開始
- 1983年 マレーシア日本人商工会議所（JACTIM）創設
マレーシアの国産車メーカー、プロトン社設立（設立当初は三菱自動車が技術提携）
- 1998年 ペトロナスツインタワー
Petronas Twin Towers 建築
黒川紀章氏の設計によるクアラルンプール国際空港（KLIA）が開港
- 2002年 マレーシア長期滞在ビザ MM2H（マレーシア・マイセカンドホーム）スタート
- 2005年 サイド・シラジュディン国王が日本を訪問
東京国際映画祭にて、ヤスミン監督作品『細い目』が最優秀アジア映画賞を受賞
- 2006年 天皇后陛下がマレーシアを訪問
日マレーシア経済連携協定（EPA）発効
- 2010年 「日・マレーシア環境エネルギー協イニシアティブ」を発表
- 2011年 マレーシア日本国際工科院（MJIT：Malaysia-Japan International Institute of Technology）開校
- 2012年 アブドゥル・ハリム・ムアザム・シャー国王、日本訪問
- 2015年 「戦略的パートナーシップについての日マレーシア共同声明」を发出
- 2016年 「ミシュランガイド」3つ星の東京「鮎さいとう」が、クアラルンプールに出店
- 2017年 皇太子殿下マレーシア訪問

日本とマレーシアの外交関係 Key Word

- 盆踊り大会**
1977年より毎年開催され、2017年に第41回開催を迎えた。2017年は、浴衣に身を包んだマレーシア人や日本人など約3万5000人が参加し、世界最大規模といわれている。
- 東方政策（Look East Policy / ルックイースト政策）**
1981年、当時のマハティール首相が、日本と韓国の労働倫理や集団主義、道徳、経営哲学などに学び、マレーシアの発展を促進させようと提唱した政策。この政策のもと、今日までに約1万6000人のマレーシア人が留学生や研修生として日本に派遣されてきた。
- JACTIM**
日系企業の利益擁護及び会員相互の親睦を図りつつ、貿易、商業、産業及び貿易活動等を通じ、日本とマレーシアの経済発展を促進することを目的とした組織。2017年1月末の会員数604社。2016年12月時点のマレーシア進出の日系企業は1,396社（製造業712社、非製造業684社）。2016年10月1日現在、在留邦人は2万3,693人。
- ペトロナスツインタワー**
日本の建設会社ハザマがタワー1を、韓国のサムスン物産建設部門がタワー2を施工。
- MM2H**
経済面での申請条件をクリアすればマレーシアに最長10年間滞在が可能な長期滞在ビザ。年間を通して温暖で、英語が広く使われているマレーシアは11年連続で日本人の「ロングステイ希望滞在国」1位に選ばれている（ロングステイ財団調べ）。

コラム エンタメも、日本とマレーシアの関係は深い!

1980年代から日本のドラマやアニメ、J-Pop、映画など、ポップカルチャーの人気上昇。日本のドラマ「おしん」や日本を代表する漫画「ドラえもん」「ウルトラマン」「naruto」「ワンピース」などは広く浸透している。2000年頃には、日本人歌手「宇多田ヒカル」や「KIRORO」が人気になった。

Hati Malaysia 協力事業

- 2014年 マレーシア文化通信『WAU』創刊
伝統音楽家「カムルル・フシン」来日公演
- 2015年 「マレーシア映画ウィーク」開催
伝統芸能の語り部「Awang Batil」と「Tarik Selampit」来日公演
- 2016年 第1回「マレーシアごはん祭り」開催

マレーシア Basic Information

人口 Population

3208万人 (2017)
民族比率は67%がブミプトラ(マレー系とその他の先住諸民族)、25%が華人系、7%がインド系、その他1%。この民族比率はあくまでもマレーシア国民の中での比率であり、外国人は含まれていない。日本:1億2674万人 (2017)

宗教 Religion

国教はイスラム教
宗教の自由を認めているため、イスラム教徒以外にも、仏教徒、ヒンズー教徒、キリスト教徒、シーク教徒など。イスラム教徒はスンナ派が圧倒的多数。
日本: 神道、仏教、キリスト教など

面積 Land Area

33万290km²
国土はマレー半島とボルネオ島の一部の2つのエリアから成り立っている。面積の60%が熱帯雨林のジャングルで、とくにボルネオ島の国立公園は壮大。
日本: 37万8,000km²

1人あたりGDP

9768米ドル (2016)
2014年に原油価格が下落し、産油国であるマレーシア経済は打撃を受けた。ただし、近年の増加した中間層や富裕層の消費活動は好調を維持。
日本: 34,629米ドル (2016)



[飛行時間] クアラルンプール～成田: 約7時間 コタキナバル～成田: 約6時間

データでひもとく

マレーシア

2017年、日本とマレーシアは外交関係樹立60周年を迎えました。この機会に、より深い相互理解ができるよう、それぞれのライフスタイルの比較、また日本とマレーシアの友好の歴史をまとめました。

その1：カルチャー比較

著名な映画俳優

P. ラムリー

1950～60年代に活躍した国民的スター。歌手、演奏家、俳優、映画監督とマルチな顔を持つ。彼の主演した映画は、現在でもよくテレビ放映されている。日本：石原裕次郎 ほか

ハリウッドで活躍する俳優

ミシェル・ヨー

「007」のボンドガールでハリウッドデビュー。「The Lady アウンサンスーチー ひき裂かれた愛」では主演のアウンサンスーチー氏を演じた。ペラ州のイボウ出身。日本：渡辺謙 ほか

国民的歌手

シティ・ヌルハリザ

国内外で多数の賞を受賞し、CD売上400万枚の実力派。2013年にはアジア各国の歌手を日本に招いたNHK音楽祭で来日。抜群の歌唱力を披露した。日本：美空ひばり ほか

超高層建築物

ペトロナスツインタワー 452メートル

2つのタワーが並んで立つ、クアラルンプールのシンボリック存在。86階の展望フロアはまるで空中散歩。タワー1は日本の建設会社が建設。日本：スカイツリー 634メートル

人気のカフェチェーン

オールドタウン

国内200店以上を展開する大型カフェチェーン。クーラーのきいたお洒落空間でローカル料理を提供しているのが特徴。空港、ショッピングモールには必ずある。日本：ドトール ほか

朝ごはん

ナシレマツ

ココナツミルクで炊いたごはんに、甘辛のサンバルソースを混ぜて食べる。きゅうり、卵、ピーナツ、煮干しといったシンプルなおかず付き。日本：味噌汁とごはん

伝統舞踊

マヨン

おもにクランタン州で演じられてきた舞踊劇。口承の物語、踊り、音楽、演劇の要素を組み合わせた総合芸術。日本：日本舞踊

人気のスポーツ

バドミントン

休日や仕事帰りに体育館に集まり、バドミントンを楽しむ人が多い。リー・チョンウェイは、マレーシアの男子バドミントン選手で、北京オリンピックの銀メダリスト。日本：野球

言語

国語はマレー語。英語もよく話す

国語はマレー語で、英語もよく通じる。また、華人系は中国語（北京語、広東語など）、インド系はタミル語など、複数の言語が話せるマルチリンガルが多い。日本：日本語

民族衣装

バジュクロン、チャイナドレス、サリーなど

祭事で着る伝統衣装は、民族ごとに異なる。たとえばマレー系の女性は、長袖の上着と丈の長いスカートを組み合わせたバジュクロン、男性はバジュ・ムラクなど。日本：着物

携帯キャリア

Maxis, Digi, Celcom, U Mobile

2013年にMaxis（マクス）が国内初のLTEサービスを開始。個人宅でのネット設備が普及していなかったため、スマホ利用者は急速に増えた。日本：NTTドコモ、au、ソフトバンク ほか

テレビ

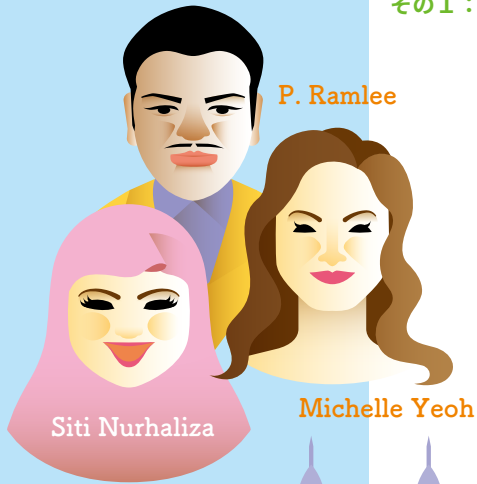
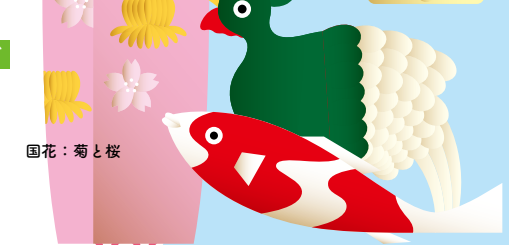
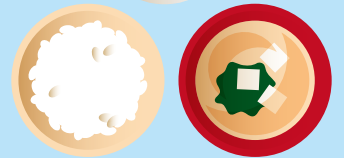
政府系2局、民放系4局

多民族ならではの言語が異なるチャンネル構成。ケーブルテレビはアストロ社が運用。日本：NHK、日本テレビ、テレビ朝日、フジテレビ、TBS、テレビ東京 ほか

セレブ御用達の靴ブランド

ジミーチュウ

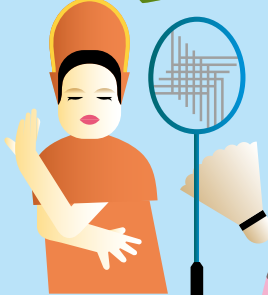
海外ドラマ「セックス・アンド・ザ・シティ」で一世風靡。マレーシア人の靴職人であるジミーチュウとイギリスの会社が共同創始したブランド。銀座にも路面店あり。日本：DIANA ほか



P. Ramlee

Siti Nurhaliza

Michelle Yeoh



国花：ハイビスカス



Malaysia

Japan

芸能とともに発展してきた

マレーシアの音楽

かつて夜の帳が降りた頃、村人たちを物語の世界に引き込んだのは、

太鼓や弦楽器「ルバブ」^①、「ゴング

（銅鑼）」などの伝統楽器による

演奏をたずさえた影絵芝居「ワヤンク

リ」^②や舞踊劇「マヨン」、語り

部などの芸能でした。大人も子供も

演者たちを取り囲み、長い夜を楽し

んだでしょう。19世紀末から20世

紀初頭、都会の民衆を熱狂させたの

はマレーオペラ「パンサワン」。チケッ

ト制で、舞台装置を配したステージ

で演じられるパンサワンは、西洋の影

響をおおいに受けて発展したのです。

そのなかで、マレーの太鼓「ルバナ」

やゴングと、バイオリンやアコーディオ

ンなどの西洋楽器を合わせた編成で奏

でられるマレー民謡^③も発展しま

した。「ザピン」「ジョゲツ」「アスリ」

など、踊りによって違うリズムや音

階、メロディーには中東や西洋の影響

が見え隠れします。

50〜60年代、マレーシア映画の

黄金期が新しいポップ音楽の始まり

となりました。マンボやルンバ、外

国の音楽要素も取り込みながら

陽気な歌が増えるなか、1970

年代頃からRPM[※]のラジオやテレビ

番組がさらに新しい時代のマレーシア

音楽を発展させます。

春節には、中国伝来の獅子舞^④

の軽快な太鼓とシンバルの音が鳴

り響き、夜な夜な道路脇の特設ステー

ジで京劇が演じられます。煌々と漏

れる明かりと大音量の歌。観る人は

まばらでも、その京劇は神々に捧げ

られているものなのです。ヒンドウ

教の祭り「タイプーサム」では、イン

ド系の太鼓の乾いた音、激しいビ

トが行進する信者の高揚感を煽り、

トランス状態へと引き込みます^⑤。

宗教儀礼や祭事とともにある音楽も

マレーシアの彩りの一つです。

ボルネオ島側では様々な先住民族

がそれぞれの文化、言語を保持して

います。ロングハウスを訪れると、西

洋音楽とは少し違った音階の伝統楽

器「クリンタンガン」^⑥とゴングの

演奏に迎えられます。サラワク州で

は、アイヌのトンコリによく似た弦楽

器「サベ」も演奏されます。

「ルバブ」、「クリンタンガン」、「サベ」

など、一度聞くと忘れられない独特

な音色の伝統楽器。多種多様な音楽

があふれるマレーシアの魅力は、ひと

言で言い表すことはできない奥深い

世界なのです。



(右) ① 三弦の弦楽器「ルバブ(Rebab)」。演奏しているのは、2015年に来日したチェマト・ジュソー氏

(左) ② クランタン州のワヤンクリの人形。牛皮でできた人形にはとても細かい彫りがほどこされ、光が当たると繊細な影が浮かび上がる



④ 太鼓やシンバルの音にあわせて飛んだり、跳ねたり、ときには愛嬌のある動きをする獅子舞



③ 西洋音楽や中東音楽などの影響を受けて発展したマレー民謡「ミュージック・アスリ」。この編成に歌が加わる



⑥ サバ州のピサヤ族のゴング（銅鑼）の楽器「クリンタンガン」。手前に並ぶ小さなゴングでメロディーを奏でる



⑤ 乾いた、甲高い音で激しいビートを繰り返すインド系の太鼓部隊。見ている者をも高揚させる

ひとりでコレ!と説明がつかないのがマレーシアの音楽。それは、ポルトガル、オランダ、イギリスによる統治や、マラッカ、ペナンを中心に、交易の拠点や文化の交流地点として発展した歴史的、地理的な要素など、様々な影響を受け、多様な芸能とともに発展してきたからです。

多彩なマレーシアの映画

多民族が暮らすマレーシアは、映画もまた多彩です。上映される映画は、マレー語、中国語、タミル語など、さまざまな言語が飛び交い、ストーリーのなかで語られる文化や習慣は作品によってガラリと変わります。同じ国の映画とは思えない多様性。それがマレーシア映画の特徴です。

マレーシア映画の変遷

1933年に最初のマレー語の長

マレーシア人の娯楽である映画が常に上映されています。お隣の国のインドネシア映画やタイ映画、ハリウッド映画はもちろん、ポリウッド映画、日本映画も豊富に上映されています。映画館は都市部を中心に多数あり、料金は9〜20リンギット（約300〜600円）。また、ハリウッド映画の公開時期は日本より早く、公開本数も多いという恵まれた映画環境。人気の作品は、マレー語、中国語、タミル語の字幕で、スクリーン

の3分の1ほどが埋め尽くされる…といった光景は多民族国家ならではの。ドラマ、コメディ、ホラー、アクション、アニメなど、上映映画のジャンルは多様で、とくにサスペンスやアクションがマレーシア人に好まれています。

編映画が作られ、その後50〜60年代に黄金期を迎えます。映画監督であり、俳優であり、歌手であり、作曲家というマルチな才能をもつP.ラムリー氏が活躍したのはこの時代。彼の映画は大ヒットし、50年以上たった今でもテレビで放映されています。そして1957年、マレーシア人なら知らない人はいない吸血女『ボンティアナ』が映画化され、ホラー映画のジャンルが誕生。その後一時期、マレーシア映画は停滞期にあったのですが、2000年代に「マレーシアニューウェーブ（マレーシア新潮）」と呼ばれる監督たちによる作品が、多くの国際映画祭で評価され、日本にも上陸。第18回東京国際映画祭では、ヤスミン・アフマド監督の『細い目』が最優秀アジア映画賞を受賞したのをはじめ、第19回には『マレーシア映画新潮 ヤスミンの物語』として、ヤスミン監督の4作品を含む9作品が特集上映され

ました。日本人のクォーターでもあったヤスミン監督は、次作を日本で撮影することを計画しながらも2009年に急逝。その年の第22回東京国際映画祭では、遺作となった『タレントタイム』が追悼上映されました。2015年、六本木で開催された「マレーシア映画ウィーク」では、ヤスミン監督の全6作品のうち5作品が上映され、日本でも新たなファンを増やしました。亡くなつてからもなお、影響力のあるマレーシアが誇る映画監督の一人です。

現代のマレーシア映画とは

日本ではなかなか観る機会のないマレーシア映画ですが、第27回東京国際映画祭では、エドモンド・ヨウ監督の『破裂するドリアン』の『河の記憶』が、マレーシア人としては初のコンペティション部門にノミネートされたり、マレーシアで毎年開催されている「マレーシア映画祭」の最優秀作品賞（2015）

を受賞した『Lelaki Harapan Dunia』が、「なら国際映画祭（2014）」で上映されました。また「福岡国際アジアフォーカス（2016）」では、ガズ・アブ・バカル監督の『ポリス・エポ』、大阪アジア映画祭（2017）では、マレーシアのデイン・サイド監督による『インターチェンジ』、華人系のジェス・チョン監督の『The Kids From Big Apple』（邦題：わたしニューヨーク育ち）やホー・ユーハン監督の『ミセスK』、タミル系のサンジエイ・クマール・ペルマル監督の『JAGAT』（邦題：世界の残骸）など、期せずして、マレーシアのおもな3つの民族の監督作品がそれぞれ取り上げられ、マレーシアの多様性を印象付けることとなりました。多民族がともに暮らすマレーシア。映画をとおして、私たちがまだ知らないさまざまな風習や文化、そして人の思いを知る、それがマレーシア映画の醍醐味なのかもしれません。

マレーシア映画のワンシーン



『細い目』(2004) / 監督：ヤスミン・アフマド / 華人系マレーシア人のジェインとマレー系の少女オーキッドの切ない恋を描いたみずみずしい作品



『タレントタイム』(2009) / 監督：ヤスミン・アフマド / 高校のタレントオーディションを舞台に、多民族国家であるが故に起こる異民族の友人や恋人とその家族の葛藤、親子の愛を描いた感動的な物語



『破裂するドリアン』の『河の記憶』(2014) / 監督：エドモンド・ヨウ / 港町の高校を舞台に、ミステリアスな少女の恋愛、工場建設反対運動に熱中する女教師の物語が絡み合う社会派な作品



『世界を救った男たち』(2014) / 監督：リュウ・セントット / 力を合わせてマレーハウスを運ぶ村人達が、誰かが見たお化けに翻弄される様子が風刺とユーモアで描かれています



『わたしニューヨーク育ち』(2015) / 監督：ジェス・チョン / マレーシアの祖父の家に預けられたNY育ちの少女は、異文化に馴染めずいつも不機嫌。でも、近所のおかしな仲間達のおかげで徐々に心を開いていきます



『世界の残骸』(2015) / 監督：サンジエイ・クマール・ペルマル / マレーシアではマイノリティであるインド系の貧しい家庭に生まれた少年が、這い上がろうとするも、その負の輪に巻き込まれていく様子を描いた問題作

4つのポイントでひもとく マレーシアのごはん

スパイスとココナッツミルクで仕上げる濃厚カレー、海鮮入りの焼き麺、お粥やサテーなど、マレーシア料理にはたくさんの種類があります。移民してきた人々がもちこんだ食文化も受け継がれ、今では民族を越えて広く親しまれている料理もあります。

マレーシア料理って何？

マレーシア料理は、マレー系、華人系、インド系、プラナカンなどの民族性や地域性などにより、様々な味があります。たとえば、マレー系の料理は、ココナッツミルクとスパイスを使ったコクのある辛みが特徴。華人系は、広東、客家、潮州料理など種類豊富。インド系は、バナナの葉を皿に使う南インド料理がポピュラーです。この豊かな食文化のもとでは、朝カレーに昼飲茶、というような贅沢な食生活もごくごく普通。まさにフードパラダイス！

どんな調味料を使うの？

マレーシア料理の奥深い味の決め手になっているのは、3つの調味料です。1つめは、辛さと、うま味の両方を兼ね備えた「サンバル」。マレーシア料理で辛い味があれば、それはサンバル入りだと思ってしまう間違いありません。2つめは、海老の発酵ペースト「ブラチャン」。濃厚な海の香りと海老のうま味の特徴。3つめは「グラ・マラッカ」とよばれる深いコクのある椰子砂糖。椰子の樹液を使ったもので、お菓子作りには必須です。



何を食べたらいい？

名物料理は「ナシレマツ」「チキンライス」「チャーキイティオ」「カレーミー」「アッサムラクサ」「ロティチャナイ」「チキンカレー」「フィッシュヘッドカレー」「ロジャ」など。その中で、マレーシアでもっとも日常的に食べられている料理が「ナシレマツ」です。ココナッツミルクで炊いたご飯に甘辛のサンバルを混ぜて食べます。きゅうり、煮干し、ピーナッツ、卵が基本の具。とくに朝ごはんの定番で、ホテルの朝食ビュッフェには必ずあります。

どこで食べたらいい？

高級レストランから庶民的な屋台まで、マレーシアの食事場所はさまざま。地元の人でにぎわう屋台がおいしいのは鉄則ですが、初めてのマレーシア旅なら、ショッピングモールのフードコートを利用してみましょう。各民族の代表料理をちゃんと網羅していますし、メニューに値段表記があるので安心です。夜なら、オープンエアのレストランがおすす。南国気分を味わえて最高です。ビールで乾杯したいなら、華人系の屋台にいきましょう。



*Congratulatory message from
H.E. Dato' Ahmad Izlan Idris, Ambassador of Malaysia to Japan,
on the occasion of The 60th Anniversary of The Establishment of Malaysia-Japan Diplomatic Relations*

マレーシア・日本外交関係樹立60周年に際し
ダト・アハマッド・イズラン・イドゥリス駐日マレーシア大使から
WAU 記念号へのメッセージ

The year 2017 marks the 60th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Malaysia and Japan. To commemorate the anniversary, a series of events and activities have been and will be organised throughout the year by the two countries, the highlight of which was the official visit of His Imperial Highness the Crown Prince of Japan to Malaysia in April 2017. The visit further cemented the already strong bonds of friendship between Malaysia and Japan.

In the past 60 years, we have witnessed the growing and the strengthening of our bilateral relations as manifested by the regular exchanges of visits at various levels, and the ever increasing links in the areas of trade, investment, tourism, education, infrastructure development, science and technology, as well as cultural and people-to-people exchanges.

One of the significant developments in Malaysia-Japan ties was the decision by the leaders of the two countries to elevate our relationship to that of a Strategic Partnership in 2015 to further consolidate and take our relations to new heights in the coming years.

60 years of friendship is indeed a momentous achievement for both Malaysia and Japan. There is much more that we can achieve, and I am confident that we will continue to diligently work together towards achieving that aim.

In conjunction with the publication of a special issue of the WAU newspaper this month to commemorate the 60th anniversary of diplomatic relations, I would like to take this opportunity to express my sincere appreciation to Hati Malaysia for its continued support and commitment in promoting Malaysia's colourful heritage and cultures especially its traditional performing arts, cuisines, films as well as its tourist offerings to the people of Japan.

I hope that Hati Malaysia will continue to contribute and play a significant role in the strengthening of Malaysia-Japan bilateral relations through its activities and regular publication of the WAU newspaper in Japan.

Thank you.

2017年はマレーシアと日本の外交関係樹立60周年にあたります。これを記念して、両国では様々なイベントや活動がこの一年を通して行われています。そのハイライトとして、今年4月に日本の皇太子殿下がマレーシアを公式訪問されました。マレーシアと日本の間のすでに強いきずなで結ばれた友好関係が、このご訪問によりさらに強固なものになりました。

過去60年間にわたり両国の関係が拡大し深まっていくのを私達は目の当たりにしてきました。それは、様々なレベルで行われる両国間の定期的な訪問や、貿易、投資、観光、教育、インフラ整備、科学技術、そして文化交流、また人と人との交流におけるつながりの拡大により明確に示されています。

マレーシア・日本関係において重要な発展のひとつは、2015年に両国首脳により決定された、二国間関係の「戦略的パートナーシップ」への引き上げです。今後両国の関係がさらに強化され新たな段階へと向かうことが期待されます。

60年にわたる友好関係は、マレーシアと日本両国にとって実に重要な成果です。これからさらに多くのことを達成できるでしょう。そのために両国が一致協力し続けることを確信しています。

この度のWAUの外交関係樹立60周年記念号の発行にあたり、マレーシアの色彩豊かな伝統や文化、特に、伝統芸能、料理、映画、観光などを日本のみなさまに広めるために継続的にご支援、ご尽力くださっている Hati Malaysia のみなさまに、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

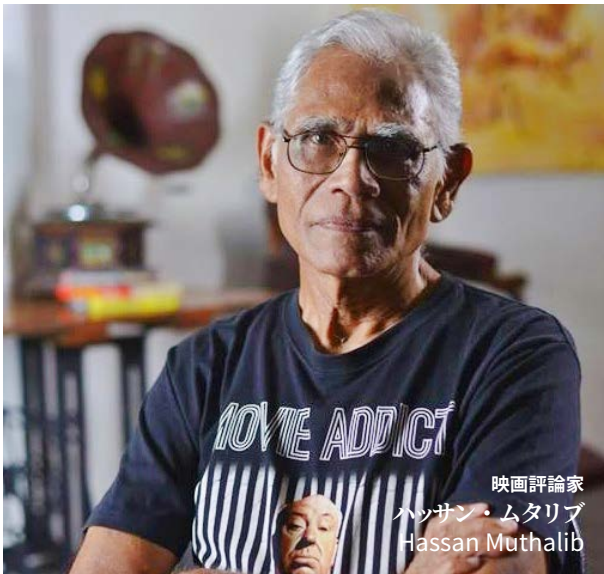
Hati Malaysia が、日本におけるその活動と WAU の定期的な発行を通して、マレーシアと日本の二国間関係をより強いものにするためにこれからも貢献され、ひきつづき重要な役割を果たされることを願っています。



映画監督
リュウ・セントット
Liew Seng Tat

「It's been 60 years of diplomatic relations between Malaysia and Japan. This seed planted 60 years ago have now grown into a big beautiful tree that birds nested on, that other animals and insects fed on, that people sit, chat, dance, sing or even fall in love under. It is beautiful. So, let's hope this big tree continue to live on. cheers.」

「マレーシアと日本が外交関係を樹立してから60年が経ちました。60年前に植えられた種は大きな美しい木となり、鳥たちが巣を作り、動物や昆虫はお腹を満ちし、人々は木陰に座ったり、おしゃべりしたり、踊ったり、歌ったり、ときには恋に落ちています。素晴らしいことです。この大きな木がこれからも生き続けることを共に願いましょう。おめでとうございます」



映画評論家
ハッサン・ムタリブ
Hassan Muthalib

「Congratulations to WAU on its third anniversary of publication this year! WAU has done a commendable job in promoting Malaysian arts, culture and heritage to the Japanese peoples. This is in line with some of the objectives in the Establishment of Malaysia-Japan Diplomatic Relations, which also celebrates its 60th anniversary this year. One of the collaborations between Japan and Malaysia is in the field of films - and WAU has been right in the forefront in documenting them. Like the Malaysian wau (giant kites) of Malaysia, WAU will continue to soar high in promoting friendship, goodwill and unity between Japan and Malaysia.」

「WAU 創刊三周年おめでとうございます! WAU は、マレーシアの文化、アート、伝統芸能を日本の読者に紹介するために大きな役割を果たしてきました。これは今年60周年を迎えた日本とマレーシアの外交関係の目的にも合致したものだと思います。映画業界でも日マ間でコラボレーションがなされてきましたが、WAU は最前線でその様子を伝えてきてくれました。日マ両国が友好を深め、結びつきを強めるため、マレーの大型凧「ワウ」のように、これからもWAU は高く飛翔することでしょう」



映画監督
サンジェイ・クマール・ペルマル
Shanjhey Kumar PERUMAL

マレーシア・日本
外交関係樹立 60 周年
おめでとうございます!



伝統音楽家
マレーシア・マラ工科大学音楽学部講師
カムル・フシン
Kamrul Hussin / Geng Wak Long

「Setinggi-tinggi Tahniah dan terima kasih saya ucapkan kepada kerajaan Malaysia dan kerajaan Jepun diatas hubungan diplomatik kedua-dua negara yang ke 60 tahun dan juga ulangtahun ke 3 majalah WAU yang telah bekerjasama memperkenalkan, memupuk dan mengekalkan hubungan budaya seterusnya menjadikan seni sebagai satu bahan dan perantara bagi merapatkan lagi tali persaudaraan diantara kita dalam memahami dan berkongsi pelbagai RASA yang sama sebagai manusia yang dicipta Sang Pencipta Agung dan merasai nikmat kehidupan yang sementara.」

「外交関係樹立 60 周年を迎える日マ両国、そして、創刊三周年を迎える WAU に心よりお祝いと感謝を申し上げます。WAU は、マレーシアの文化を紹介し、芸能・アートを通して友好を深め、文化的なつながりを強化するために協力してきてくれました。我々は神によって創造された人間として、様々な「想い」を理解し合い、共有し、つかの間の人生を謳歌するのです」

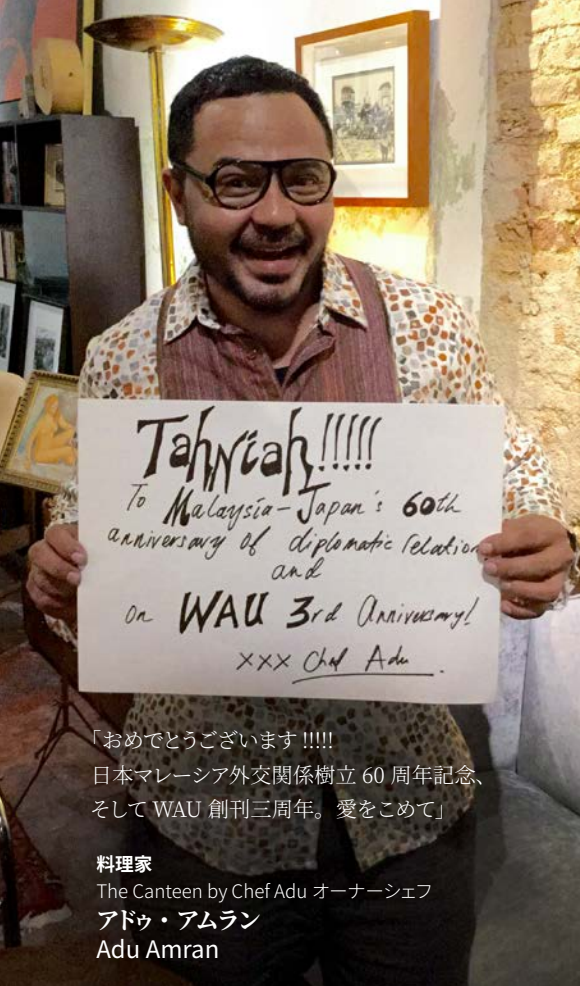


Congratulations on
the 60th Anniversary
Establishment of Malaysia-Japan
Diplomatic Relations.

マレーシア・日本
外交関係樹立 60 周年
おめでとうございます

James Lee
independent filmmaker

プロデューサー・映画監督
ジェームス・リー
James Lee



「おめでとうございます!!!!
日本マレーシア外交関係樹立 60 周年記念、
そして WAU 創刊三周年。愛をこめて」

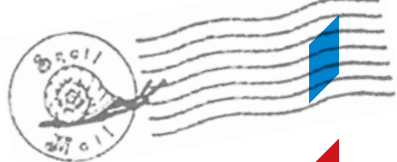
料理家
The Canteen by Chef Adu オーナーシェフ
アドゥ・アムラン
Adu Amran

「The relationship between Malaysia and Japan is a long one, from a stormy beginning to decades of mutual respect and understanding. Many generations of Malaysians grew up watching Japanese drama, listening to Japanese music, reading Japanese manga. I am one of them, when I came to study in Waseda University at Tokyo almost 10 years ago I felt as if I have returned to my second home. And inevitably I love Japan as much as I have loved Malaysia. I have made films in both Malaysia and Japan, because the stories of the people from both countries continue to fascinate me. And I hope this can help us understand each other more. I congratulate these two countries of my heart for the 60th anniversary of diplomatic relations, and hope for a fruitful relationship for many decades to come.」

「マレーシアと日本の関係は長いものです。嵐のように始まり、その後数十年にわたりお互いに尊重、理解し合ってきました。マレーシア人は世代に関わらず、日本のドラマを見て、日本の音楽を聞いて、日本の漫画を読んで育ってきました。私もその一人です。10年以上前、東京の早稲田大学に留学生としてやってきた時、なんだか第二の故郷にきたような気がしました。私はマレーシアを愛しているのと同じぐらい日本を愛しています。私がこれまでマレーシアと日本の両方で映画を撮ってきたのは、どちらの国の人々のストーリーも私を魅了し続けるからです。私の作品が相互理解の一助になれることを願っています。私にとって大切な両国が外交関係樹立 60 周年を迎えたことに、お祝い申し上げます。そして、今後も実り多い関係が続くことを願っています」



映画監督
エドモンド・ヨウ
Edmund Yeo



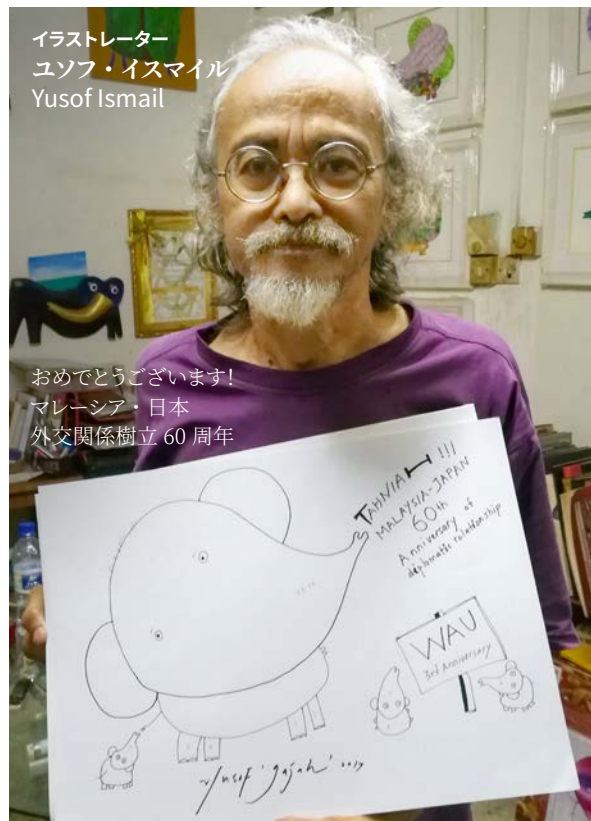
Congratulatory Messages

マレーシア・日本外交関係樹立 60 周年を記念し、
マレーシアの著名人より祝賀メッセージがとどきました!



おめでとうございます!!!
マレーシア・日本外交関係樹立 60 周年と
WAU 三周年!

映画監督・プロデューサー・女優
ジェス・チョン
Jess Teong



イラストレーター
ユソフ・イスマイル
Yusof Ismail

おめでとうございます!
マレーシア・日本
外交関係樹立 60 周年



ワールド ベスト LCC 9年連続受賞!

120都市以上を結ぶエアアジアで
誰でも気軽な空の旅へ。



ワールドベスト LCC 受賞
プレミアムキャビン&シート

Award-winning
プレミアムフラットベッド

World's Best Low-cost Airline
Premium Cabin / Premium Seat

airasia.com
Now Everyone Can Fly

エアアジア

祝・日本マレーシア外交関係樹立60周年



AYAMの濃厚な ココナッツミルク プレミアム

- 新鮮なココナッツから抽出したエキスを使用。
- 漂白剤・着色料不使用。

輸入販売元: 日仏貿易株式会社
製品情報やレシピはこちら
www.ayam.jp



日本マレーシア外交関係樹立60周年
お祝い申し上げます



創立 33 年の豊富な実績と知識で、お客様の希望をサポート。
また、訪日観光客向けの日本国内ツアー、観光バスなどのサービスも行っています。

株式会社エムアールシージャパン

東京都知事登録旅行業 3-5248 号 <http://mrcj.jp>

HALAL 認定
マレーシア料理レストラン

マレーチャン

Malaychan 1

Satu

3号店キッチンマレーチャン

イベント、宴会向けケータリングサービスも御用意
がございます。→ <http://jakim.co.jp>

東京都豊島区西池袋3-22-6
tel. 03-5391-7638

本場マレーシア人がおもてなし
Authentic Malaysian Cuisine

日本マレーシア外交
関係樹立60周年
お祝い申し上げます

サテ、ローストチキン、ナシレマ、ロティなど
多彩な料理をお楽しみください

We hope you will enjoy the taste of Malaysian Halal dishes.
You can contact us in English, Bahasa, Mandarin and Japanese.



マレーアジアンクイジーン

渋谷店 青山246通り沿い 03-3486-1388
横浜店 元町中華街近く 045-307-9839
malaysiancuisine.com



マレーカンポン

東京・八丁堀 03-3537-6690
malaykampung.com

屋台祭り、料理教室も開催中!



マレーシアで人気のインスタントカレーや調理用ペーストを販売。
自宅で簡単にマレーシアの味が楽しめます。

日本マレーシア外交関係樹立60周年
お祝い申し上げます
今後も両国の
より良い関係と発展をめざし
全力を尽くしてまいります

Brahim's
株式会社ブラヒムフードジャパン
Brahim's Food Japan
brahimsfoodjapan.com

マレーシア旅行専門店

こだわりのホテル、マラソン、トレッキング、
教育プログラム、視察など、ご希望に合わせて
オリジナル旅程アレンジが可能です！

具体的なプランが
決まっていない方も
お気軽にお問い合わせ
ください！

パーパスジャパン

応援します！目的のある旅 東京本社 03-5775-1919
パーパスジャパン 大阪支店 06-6456-5892

皮フ科・アレルギー科 ガーデンクリニック広尾

院長：キョン・チンフアイ (女医)
Director: Dr. Chin-Huai Keong

「日本マレーシア外交関係樹立
60周年記念お祝い申し上げます」

〒107-0062
東京都港区南青山 7-14-7 2F
TEL: 03-6427-9198
※ 日本語・英語対応可
<http://gardenclinic-hiroo.com/>
gardenclinichiroo

Dermatology
Garden
Clinic
Hiroo

日本マレーシア倶楽部 Japan Malaysia Club

●日マ外交関係樹立 60周年 祝賀メッセージ●
両国民が民主主義という価値を共有し、友好関係を築き
あげてきた60周年を共に喜びたいと思います。欧米
には内向きな志向が目立つようになってきた国もあり
ますが、日本とマレーシアはこれからも平和な世界を
目指して友好な関係を築き上げていきたいものです。
日マ倶楽部は若者たちの交流促進を支援してまいります。

草の根国際交流の任意団体
日本マレーシア倶楽部
会員募集中

<http://nichima-club.org/>

PETRONAS

Congratulations
on the 60th Anniversary of
Malaysia-Japan Diplomatic Relations

Japan Malaysia LNG Co., Ltd
Nisseki Yokohama Building 17F,
1-1-8 Sakuragi Cho,
Naka-ku, Yokohama 231-0062
T: (045) 603-1330 F: (045) 680-2265

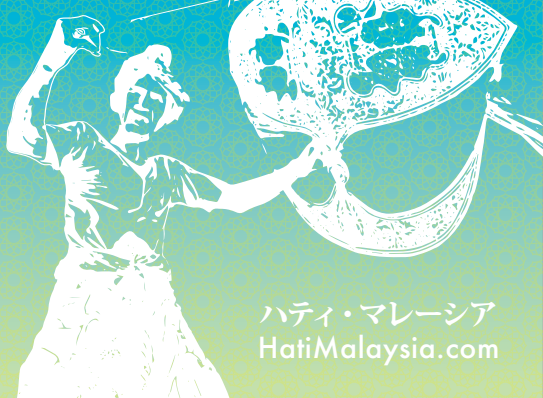
You can enjoy our Bak Kut Teh バクテー

A1 肉骨茶

祝60周年! 日本とマレーシアの良き交流が
これからも続きますよう、おいしい肉骨茶を
心を込めて提供していきます!

東京都北区上十条 2-30-9 1F
TEL 03(6325)7789
JR埼京線十条駅北口徒歩1分
www.bakuteh.jp

日本マレーシア
外交関係樹立
60周年記念
お祝い申し上げます



ハティ・マレーシア
HatiMalaysia.com

日本マレーシア外交関係
樹立60周年記念
お祝い申し上げます

Congratulations on
the 60th Anniversary of
the Establishment of
Malaysia-Japan Diplomatic Relations
2017

PNB

PNB Asset Management (Japan) Co.,Ltd.

www.pnb.com.my

クラウドファンディング 応援ありがとうございました!

『WAU』は、日本・マレーシア外交関係樹立60周年という記念すべき今年、ちょうど創刊三周年を迎えました。これを機に、今まで A3 タブloid版 4 ページだった WAU を A4 版にし、ページ増にてリニューアル。この13号が、リニューアル第1号になります。

今回、リニューアルのための費用、WAUの継続的な発行のための製作費を調達するために、クラウドファンディン

グに挑戦しました。6月12日～8月4日までの約1か月半、多くの方のご支援のおかげで、目標金額の100万円を達成することができました。たくさんの熱いメッセージを毎日いただき、Hati Malaysia 一同、感謝、感謝の連続でした。これからも、皆さまの応援を心に抱き、日本とマレーシアを文化でつなぐマレーシア文化通信『WAU』を大空に飛ばし続けます。このたびは本当にありがとうございました。

クラウドファンディングにてご支援をいただいた方々 (順不同・敬称略)

112名

集まった金額 1,195,388円

Happy Ten 合同会社	山本啓一	小池安雲	中田直美	j+yasuko	伊能すみ子	やかべっち	
ウチムラマユミ	Shahidatul Sadiah & Family	mashino	草波春香	Kirikanan	Apiq dan Atul		
Yumi	山中俊治	志岐文子	杉浦美佐緒	遠藤真理菜	アジアンダイニングキッチン 韻彩 静岡県		
海老原直矢	内山このみ	yotacco	田中宗一	疋田千里	品川久美子	砂川史織	矢吹悟
イタリア料理店北千住 La ZAPPA	株式会社サカジオ	mee graphics&print	KEIKO MIYAKE	田中弘治			
崇福寺	上原和夫	上原経子	KOJI HAYASHI	本多真一郎	関根隆之	津田恵子	
赤道亭くん太郎	坂下豊茂	Ushida Usshie	林美幸	浅野曜子	Todokoro Mikito	YOKO ARAI	
あじまめぐみ	Yoko Yamashita	Murata Chinami	西嶋千晴	高井飛鳥	Sephrine Tan	小澤紀夫	
KENNYasia	村野奈穂美	福富友子	東向島珈琲店	安倍雄也	杉生幸久	松本俊也	伊与高之
柏木亜衣	永田篤史	竹花忠男	百武絢子	清田彩子	小川善照	三上剛司	歳森真紀
小林美根子と大介	坂本友紀	岩川真由美	水庭清隆	Suria 松川高子	岩間有衣	伏木香織	
村上雅彦	中村直子	Reiko Sato	小森直哉、明枝	リンリンママ	Sayakancil	U	Kaori Ikeda
水嶋一江	ブン&真美ジョンソン	おおのきよみ	神田京子	Y.MAKI	モモンガ映写室	KONDO RIEKO	
Festina Lente Japan	イシカワセイタ	Shimoyama Masaya	川端隆史	川崎絢奈	橋雅彦	橋まゆみ	



Hati Malaysia

私たち Hati Malaysia は、上原亜季（マレーシアほか東南アジア伝統芸能コーディネーター）、高塚利恵（映画・映像プロデューサー）、古川音（マレーシア料理愛好家/ライター）の3人メンバーからなる、エキスパート集団です。マレーシア文化通信フリーペーパー＜WAU(ワウ)＞の編集発行、マレーシア文化講座（芸能・映画・ごはん）の講師、そのほかイベントや現地ごはんツアー等を企画、開催しています。また、WAUにて取材してほしい、取り上げてほしい題材があれば、どうぞお気軽にご連絡ください。



表紙：クランタン州の WAU(マレー風) 職人
写真提供：マレーシア政府観光局



上原 亜季
Aki Uehara

ムティアラ・アーツ・プロダクション代表。AFS 生として一年間マレーシアの高校に留学。Universiti Sains Malaysia の大学院にてマレーシアの伝統芸能の研究を行い、修士号取得。国際文化会館勤務を経て、現職。東南アジア芸能コーディネーター、イベント企画・制作、記事執筆、マレー語通訳・翻訳。
mutiara-arts-production.com



ペナン島の USM 大学の「クロンチオン」の演奏にも参加していました

バイオリンがマレーシア芸能への扉に
幼い頃から漠然と「郷土芸能」に関わる仕事がしたいと思っていましたが、まさか、マレーシアの芸能に魅せられ、その魅力を日本のみならずにお伝えする仕事をする事になるとは、自分でも驚きです。そして不思議なことに、マレーシア芸能への入口を開いてくれたのは子供の頃から習っていたバイオリンでした。マレー民謡の演奏にバイオリンで参加し、その魅力の虜になったのです。マレーシアの多様な芸能や音楽、楽器のクローズアップなど、これからも WAU を通してひも解いていきます。



高塚 利恵
Rie Takatsuka

映像プロダクション、株式会社オッドピクチャーズ代表。インディペンデント映画プロデューサー。日本国内にて映像によるプロモーションの企画、撮影。マレーシアの映像制作プロダクション (ODD PICTURES MALAYSIA) と連携した映像・映画製作など。
odd-pictures.asia



クアラランプールで長編撮影。マレーシア人スタッフと

異文化に触れる映画体験を
7年前、映画撮影のために、初めてのマレーシアでいきなり1ヶ月を過ごしました。色彩かな街、日本の夜祭りのような屋台街、人々のおおらかさ。私はマレーシアに魅せられました。そして、どこの国も変わらない映画人たちの熱意。彼らの作品をせつかくだから日本のみなさんにもご紹介できたら…という軽い気持ちで始めた WAU もあつと言う間に三年。マレーシアの映像技術の進歩も目を見張るものがあります。これからもニッチなマレーシアの作品をご紹介します。と思っています。



古川 音
Oto Furukawa

ライター。首都クアラランプールに4年滞在した経験を活かし、「All About」や「CREA」ウェブサイトにてマレーシアの記事を執筆。また「マレーシアごはんの会」にてイベントや料理教室を主催。来場者2000人規模のマレーシアごはん祭り、現地ごはんツアーも開催。
マレーシアごはんの会
malaysianfood.org



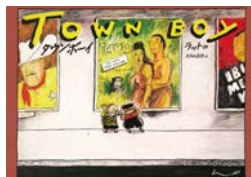
B6 変形版、96 ページすべてナシレマツ!

現代に生きる伝統を追いかけたい
マレーシアから帰国して8年。マレーシアの魅力伝えたいと、あれもこれもと色々挑戦した日々でした。おかげで多くの仲間に出会い、WAU は三周年を迎えることができました。私が伝えたいのは、マレーシアの日常に生きる伝統です。大事にされている伝統文化や昔ながらの味には、現代を生きる私たちにも必要なヒントがあると思うのです。その第一弾としてマレーシアの伝統食『ナシレマツ』についてまとめた本を出版します。インタビューからレシピまで様々な角度からナシレマツを紹介。ご覧ください。



陳 維錚
TAN JC

デザイナー、現代アート作家。ジョホール出身、96年来日。山形の東北芸術工科大学映像専攻卒、京都精華大学芸術学博士課程出身。京都を拠点に国内外にてメディアアートを中心にクリエイティブ活動中。創刊号から『WAU』アートディレクション担当。
tanjc.net



ラット 著 / 左右田直規 訳
東京外国語大学出版会

記憶の触媒になる読み物
日本で生まれ育って6才になろうとする娘は、マレーシアマンガ家ラットの作品『タウンボーイ』を愛読しています。いっしょに帰省したときにみた町並みや伝統行事から、屋台の匂いまで記憶が蘇るそうです。日本語があるおかげで、私の中にある故郷の原風景を、娘も妻（日本人も共有できたのがうれしい。マレーシアがより身近に、より恋しくなる「触媒」のような読み物に、WAU もなれたらいいなど願っています。



成田12/30 発1/3 帰着
マリンドエア直行便で行く

100名様
限定

サンセットディナークルーズ付

コタキナバル 5日間

199,800円

大人お1名様/2・3名1室利用/ネクサスリゾート(オーシャン/バラマテラックス)利用時

ツアースケジュール

- 12/30 成田(9:00)発→ 直行便にてコタキナバルへ
- 12/31 終日自由行動 オプションツアー等でお楽しみ下さい
- 1/1 終日自由行動 [H.I.S. 特別企画] サンセットディナークルーズをお楽しみ頂けます
- 1/2 出発まで自由行動 深夜: コタキナバル発→直行便にて成田へ
- 1/3 成田(7:30)着

ツアーコード: TC-GB00005-17A68 添乗員なし・現地係員あり
食事: 朝3 昼0 夕1(機内食除く) 利用航空会社: マリンドエア
減延泊: 不可 1人参加: 可(要別途1人参加代金)
利用ホテル: ネクサスリゾート(オーシャン/バラマテラックス)

お申し込みは

エイチ・アイ・エス
アジア予約センター
03-6628-8174
www.his-j.com



「見たい」「食べたい」「遊びたい」がぎっしり! 魅力あふれるマレーシアへぜひお越しください!



TOURISM MALAYSIA
マレーシア政府観光局
tourismmalaysia.or.jp